

自分たちのまちは自分たちでつくろう

ふしおだい

コミュニティ

日本初・池田発
地域分権
ふしおだい
コミュニティ誌

Vol.16

発行：ほそごう地域（伏尾台）コミュニティ推進協議会 池田市伏尾台3丁目4-1-114 / 平成29年3月20日

さあ、スタートの春です！

春の陽気とともに新年度がスタートします。また一つ、お兄さんお姉さんになってうれしそうなお子ともたち。そんなドキドキワクワクがあふれる伏尾台をめざして、新しい年を楽しみな一年にしたいと思います。

「赤い橋」が伏尾台のシンボルに！

昨年末に新吉田橋に横断幕（子育てにやさしいまち宣言）と夜間照明が設置されました。わが伏尾台の入口のシンボルとして、地域内外にアピールしていきます。

「創生会議2017」がスタート！



「伏尾台創生プラン2020」の提言から、3つの部会（①ホームページ部会、②地域内交通部会、③伏尾台小学校跡地整備部会）で具体的な施策が動き始めます。各部会へのご参加と今後の施策の動向にご注目ください。

「各種証明書発行」がコプラでOK！



2月よりコプラに設置された端末機で各種証明書（住民票・印鑑証明書・戸籍事項証明書）が取得できるようになりました。どうぞご利用ください。（※ただし、マイナンバーカードが必要です。）

ほそごう学園が「コミュニティ・スクール」に！



文科省が推進している新制度で、地域住民も参加する「学校運営協議会」が設置され、より地域と連携した学校運営がすすめられます。皆さまのご支援をお願いいたします。

いろいろありましたね、この1年。

平成28年度にコミュニティ推進協議会が主催・支援・協力しましたさまざまな活動のご報告です。地域住民の皆さまのご協力やご参加を心から感謝いたします。

「コミュニティ推進協議会」の組織と活動についてお話しします。

平成19年に日本初の試みとして、わが池田市でスタートしたのが「地域分権制度」です。その目的は「自分たちのまちは自分たちでつくりたい」で、地域住民が自発的に組織として話し合い、市に対して事業提案するというものです。

その組織が「コミュニティ推進協議会」であり、地域のさまざまな課題解決を目的に、年間500～700万円（※）を上限として「予算の提案権」が与えられています。より良いまちづくりを実現するためにも、多くの住民の要望が必要ですので、皆さまの協議会へのご意見ご参加をお待ちしています。

（※制度の内容や各校区の取り組みは、池田市のホームページをご覧ください。）



①第42回「夏祭り」(8月27日)



④防災訓練(11月6日)



⑧木製ベンチの贈呈



⑤新吉田橋ライトアップ点灯式(12月11日)

⑨星空観望会



⑩青パト活動(安全パトロール隊)



⑥山びこフェスタ(寄席・コンサート:各2回)



②第32回「地域と学校を結ぶ文化祭」(11月3日)



③散策路清掃(11月28日)



⑦花いっぱい運動

①子ども神輿の巡行からゲーム大会、特設ステージでの演奏やダンス、盆踊りまで、住民間の楽しいコミュニケーションが夜おそくまで続きました。②ほそごう学園のあちこちで、生徒さんの活動発表はもちろん地域の皆さんの演奏や作品展示などで交流を深めました。③ほそごう学園

3年生の地域学習の一環として、散策路の清掃を子ども達や先生方と一緒にしました。④消防署の皆さんによる消火訓練や人命救助、AEDなどを体験。最後は恒例の炊き出し訓練。豚汁があたたまりました。⑤住民の方の寄贈により実現したライトアップの点灯式には、倉

田市長をはじめ多くの関係者と住民の皆さまがお祝いにかけてくれました。⑥落語や漫談に大笑い、コンサートでは口ずさんだりの楽しいひとときを。⑦地区福祉委員会と共同で、ほそごう学園の「地域花いっぱい運動」を支援しています。

⑧ほそごう学園の3年生が制作した木製のベンチが、バス停などに設置されています。⑨五月山児童文化センターのプラネタリウム解説員の方を招いて開催。⑩ボランティアの皆さんが毎日交代で2～3時間巡回していただき、地域の安全を監視してくれています。

平成29年度:予算提案事業(案)について

平成28年10月30日(日)に開催されたコミュニティ推進協議会総会にて、下記の通り審議・可決されました。3月の市議会にて可決・承認される見込みです。

◎実施予定事業【新規】以外は【継続】事業です。

事業内容	概要	予算
協議会拠点運営事業	協議会活動拠点の維持管理運営費	1,792,000円
コミュニティサロン設置事業	コミプラ内での交流場所の維持管理運営費	625,000円
まちの情報センター運営事業	コミプラ内での情報発信や証明書交付サービス機の維持管理運営費	625,000円
子育て支援環境整備事業	子育て支援ルームの維持管理運営費	725,000円
防犯カメラ維持管理事業	校区に設置した防犯カメラの維持管理費	286,000円
AED管理事業	本体1カ所(伏尾台センター)の更新費	297,000円
協議会事務事業	事務費および庶務経費	100,000円
安全パトロール実施事業	安全パトロールカーの維持運営費	400,000円
防犯防災啓発事業	防犯防災委員会への支援費	200,000円
地域コミュニティ紙等発行事業	年数回の制作費および配布費	300,000円
地域行事等活動促進事業	夏祭りおよび子供会イベントの支援費	300,000円
伏尾台地区活性化事業	山びこフェスタの開催費および文化祭の支援費	350,000円
ほそごう地域花いっぱい運動支援事業	細河地区共同での支援費	25,000円
市民レクリエーション大会事業	スポーツ振興会が開催する運動会の支援費	200,000円
伏尾台創生会議2020宣言広報事業【新規】	ライトアップされた新吉田橋の設備維持管理費	50,000円
伏尾台地区住民清掃事業【新規】	住民参加の清掃事業への支援費	50,000円
地域整備事業【積立】	平成30年以降の事業費積立	1,300,000円
	合計	7,625,000円

伏尾台のホームページがスタートします。

『伏尾台で暮らす。』

<https://fushiodai.dekuras.com/>

伏尾台のホームページが4月1日に正式オープンします。まちの魅力や日々のニュース、活動されているグループ・団体の紹介など幅広いまちの情報を掲載する予定ですので、皆さまのご意見やご投稿をぜひお待ちしております。



伏尾台地域のFB(フェイスブック)

『伏尾台の話題』も

同時オープン!



<https://www.facebook.com/groups/fushiodai/>



※画面は開発中のものです。

募 集

ボランティア・スタッフさん 募集中です。

「安全パトロール」 隊員さん

1日2～3回のパトロールで地域の安全を見守っている、通称「青パト」の隊員さん。

「コミプラ」 お世話係さん・お掃除係さん

休憩や打ち合わせなどに使用できるコミプラ内のフリーサロンで、1回2～3時間のお世話係さん。閉館後のサロンやトイレのお掃除係さん。

「山びこフェスタ」 スタッフさん

音楽コンサートや寄席などのイベントをサポートしていただけるスタッフさん。

「ホームページ」 取材スタッフさん

4月から開設するホームページ「伏尾台で暮らす。」に掲載する情報の取材や撮影などの協力スタッフさん。



『ご意見ポスト』のご案内

コミュニティ推進協議会へのご入会、ご意見、ボランティア・スタッフさんの参加などにつきましては、コミプラ内の「専用ポスト」または常駐スタッフにお申し付けください。



「コミプラ」はコミュニティ推進協議会の拠点であり、住民の集いの場。

伏尾台コミュニティプラザの略称「コミプラ」は、地域分権を推進するための拠点として平成27年度に開設され、4つの機能を備えた施設として活用されています。お気軽にお立ち寄りください。

①子育て支援ルーム

伏尾台の子育て支援サークルが定期的に使用。

②フリーサロン「山びこ」

休憩、学習、イベントなど世代を超えた住民交流の場。

③まちの情報センター

伏尾台の最新情報やボランティア活動の紹介・募集などを掲示。

④コミュニティ推進協議会の事務所

事務作業や各種会合に使用。管理者も常駐。



開館時間：平日午前10時～午後6時
※土日祝・年末年始は休館